



一緒に創るやさしいトイレ

NCGG-UniCoプロジェクトリーダー

齋藤 民

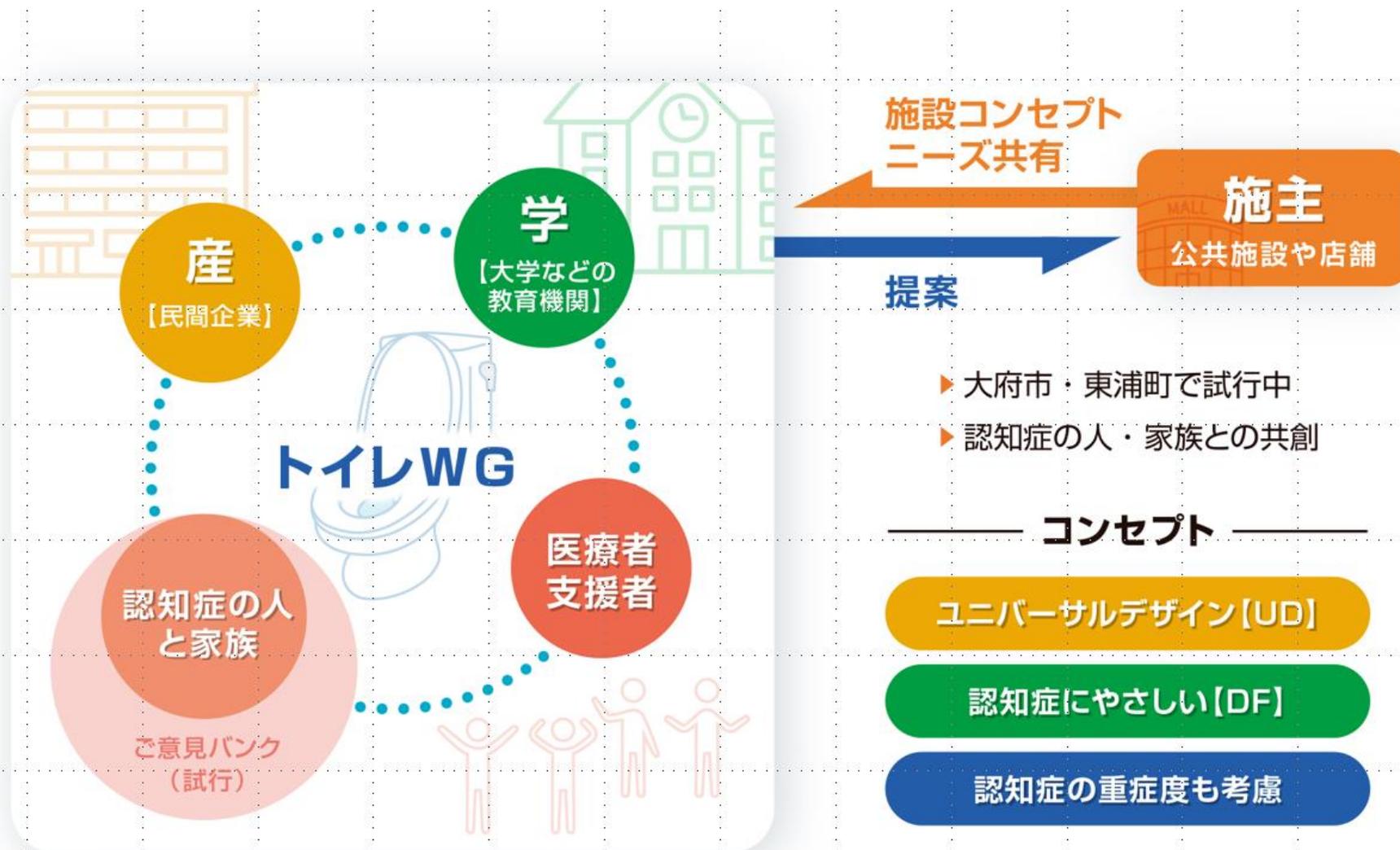
t-saito@ncgg.go.jp

なぜトイレが重要なのか？

- 失禁は尊厳に関わる
- 失敗への不安や体験が、本人や家族の外出や社会活動を損なう
- 外出先では、1時間に1回程度利用する方もいる
- 利用しやすいトイレがなく、外出しづらい人(認知症に限らず)が多い

外出先に使いやすいトイレがあれば、出かけやすくなる！

NCGG-UniCoトイレワーキング



2024年度活動

ワーキング:6回
認知症のある人やご家族等との意見交換会:2回
トイレ提案:1か所

UniCo版優しいトイレのコンセプト策定

自立～重度認知症の人までがシームレスに使い分けられるトイレ

認知機能正常～
軽度認知症

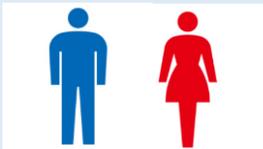
軽～中等
度認知症

中～重度
認知症

分かりやすい男女別
共同トイレ

男女共用広め
トイレ

バリアフリー
トイレ



男性 女性
Men Women



(<https://newsroom.lixil.com/ja/20220511>)



ユニバーサルデザインに認知機能低下への対応を加味

ユニバーサル
デザイン(UD)

認知症に
やさしい(DF)

- 既存ノウハウ
- 臨床知見
- 意見交換会を整理、集約

大府市健康交流施設への提案(2024.12)



2026年度完成予定

- 継続検討
- 検証課題整理

認知症のある人や家族との意見交換会 (ご意見バンク試行)



外出先トイレで困った
ことは?

わかりやすいカギ
や表示は?

認知症の人はトイレを使えるのか？

PADA-D(排泄項目)の完全自立度割合

(Shimokihira et al, Psychogeriatrics, 2022)

排泄5工程	全 (n = 143)	軽度 (n = 53)	中等度 (n = 73)	重度 (n = 17)
トイレに入る	85%	96%	85%	47%
便座に座る	87%	92%	89%	59%
用を足す	92%	96%	93%	76%
後処理をする	92%	100%	95%	59%
トイレを出る	80%	85%	85%	41%

対象: 24の医療機関や介護事業所の65歳以上外来
(通所)認知症患者143名
(除外: 車椅子や麻痺など身体機能低下の著しい人)
重症度: 軽: MMSE ≥ 20 ; 中 ≥ 10 ; 重 < 10
PADA-D: 自宅での排泄に関する5工程15項目
(療法士観察 or 家族評定)

- 中等度の方まで、多くの人は自分でできる
- トイレをみつけるまで、と、流して出るまで、がやや困難？

PADA-D(排泄項目)を用いた困りごとと整理例

上位項目	下位項目
トイレに入る	トイレの場所にたどり着く
	照明のスイッチを入れる
	扉を開けてトイレに入る
便座に座る	扉を閉める
	下衣を下ろす
	便座を背にして腰を下ろす
用を足す	いきむ
	排出する
	出し終わるまで座っている
後処理をする	トイレットペーパーを巻き取る
	加味で清拭する
	拭いた紙を便器に入れる
トイレを出る	水洗レバー・ボタンで流す
	下衣を上げる
	トイレから出て照明を消す

+手を洗う
+トイレの出口から目的地に戻る

認知症の人の困りごと

トイレが見つからない(軽)

鍵をかけ開けられない(軽)

こぼすことがある(軽)

失禁がある(中)

非常ボタンを押してしまった(軽)

小便器と間違えやすい(中～重)

家族の困りごと

異性では一緒に入れない(中～重)

介助するのに向か
って右側を空け
てほしい(中～重)

手すりは安全に折
りたためるよう
にしてほしい(中～重)

大人用おむつ替え
台が欲しい
(中～重)

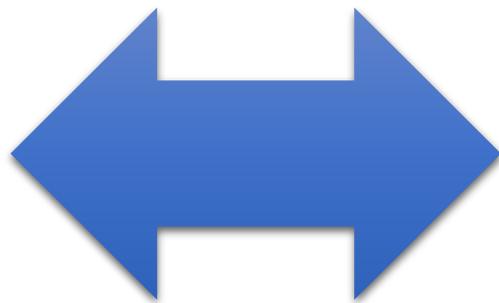


困りごと解決の
ノウハウ集約

公共トイレの今後の課題



- 使いやすいトイレがあれば行ける
- 出かける前にトイレを調べる



- トイレは余ったスペースに
- 予算をかけたくない
- 建築基準を満たせば良い

ギャップを埋めるには？

トイレワーキングのこれから

- 現在、検証すべき課題を整理中
 - トイレに関する科学的な根拠は少ない
- 2025年度より検証開始予定

カギやサイン(表示)などの個別の検証から、やさしいトイレ設置まで、ご協力フィールドを募集中！